ビルメンテナンス　建設

派遣労働者実態調査

半数が派遣以外望む

正社員転換制度は未整備

1面関連

「過半数労働組合がある」事業所は25・7％、「過半数労働者代表がいる」は35・9％で、「過半数代表者がいない」は23・9％、「わからない」が10・9％。

法改正後に締結された派遣契約について、派遣期間を延長するため過半数労働組合等から意見聴取を「した」のは21・6％、「していない」は60・9％。

意見聴取をした事業所の派遣期間延長が必要な理由は、派遣労働者を就業させる理由とほぼ同様の傾向を示している。

派遣労働者を正社員にする制度がある事業所は13・1％（同0・1ポイント増）で、過去1年間に正社員にした実績があるのは1・5％、実績なしが11・5％、83・8％の事業所は制度がないとしているが、1・5％は過去1年間に正社員への転換実績があった。

紹介予定派遣を利用したことがあるのは6・8％で、57・8％は「制度を知らない」と回答している。

登録型が増加 平均時給は1363円

【派遣労働者調査】

派遣労働者の年齢は「40～45歳」が16・5％で最も多く、30～40歳代が56％を占めている。生活を賄う収入源は「自分自身の収入」が71・6％、「配偶者の収入」が18・8％。学卒後初めて就いた仕事の就業形態は「正社員」が73・6％で、「派遣労働者」は8・5％にとどまっている。

派遣の種類は「登録型」が53・9％（前回調査比6・1ポイント増）、「常用雇用型」が46・1％（同6・1ポイント減）で、前回調査時と比率が入れ替わっている。登録型の派遣労働者が登録している派遣元の数は「1か所」が58・1％、「2か所」が14・2％、「3か所」が10・5％。これまで働いた派遣先の数は「1か所」が42・7％、「2か所」が19・9％で多いが、10か所以上も3％を超えている。

現在の派遣元との労働契約の期間は「2か月超3か月以下」24・0％に次いで、「期間の定めはない」20・9％が多く、登録型では前者が、常用雇用型では後者が多くなっている。派遣先での予定派遣期間は「2か月超3か月以下」が登録型32・7％、「常用雇用型」20・6％で、ともに最多となっている。現在の派遣先における同一組織での継続就業期間は「1年超3年以下」45・2％、「6か月超1年以下」20・2％が多く、同一組織での契約更新回数は「4回以上」40・0％、「0回」17・8％、「1回」12・7％などとなっている。

賃金（時給換算）は「1000～1250円」35・5％（同5・6ポイント増）、「1250～1500円」21・1％（同0・9ポイント増）、「1000円未満」14・5％（同5・7ポイント減）など。平均は1363円（同12円増）で、登録型は1296円、常用雇用型は1442円。賃金に「満足している」は34・1％（同0・8ポイント減）、「満足していない」が39・1％（同4・0ポイント増）。満足していない理由では「派遣先の同一業務の直接雇用労働者より低い」26・7％、「業務量に見合っていない」24・1％、「自分の能力や職務内容に見合っていない」21・5％などが多い。

「賃与・一時金」がある派遣労働者は19・5％、「昇給」があるのは15・0％、「通勤手当」があるのは50・8％。社会保険の加入割合は「雇用保険」が84・8％、「健康保険」が82・2％、「厚生年金保険」が80・2％、妊娠・出産・育児・介護に配慮した休暇制度等が「ある」のは27・0％、「ない」は12・3％で、54・0％は「わからない」と回答している。

制度等がある割合は「産前・産後休暇」23・5％、「育児休業制度等」21・4％、「介護休業制度等」16・1％、「時差通勤・勤務時間の短縮等」12・2％、「業務負担軽減」10・2％など。

派遣元に要望が「ある」のは51・7％（同2・9ポイント増）で、内容は「賃金制度の改善」55・8％（0・7ポイント減）、「継続した仕事の確保」31・6％（同11・0ポイント減）、「派遣先への直接雇用の依頼」23・2％（前回項目なし）、「契約が中途解除された場合の派遣先確保」20・6％（同5・3ポイント減）など。

派遣先に要望が「ある」のは38・1％（同1・5ポイント増）で、内容は「派遣契約期間の延長」29・9％（同7・8ポイント減）、「指揮命令系統の明確化」22・9％（同3・1ポイント減）、「年次有給休暇をとりやすく」21・9％（同1・9ポイント増）など。前回調査時に比べ迅速な苦情処理（13・2％）や職場環境の改善（16・8％）への要望が増加している。

今後の働き方で「派遣労働者」を希望したのは26・8％、「派遣労働者以外」が48・9％。派遣労働者以外を選択した者の希望する就業形態は「正社員」が80・8％、「パートなど正社員以外」が11・0％。正社員希望者の就業希望場所は「今の派遣先」が45・9％、「今の派遣先以外」が34・9％だった。

派遣労働者を希望した者のうち「無期労働契約」を希望したのは71・0％、「有期労働契約」を希望したのは24・8％、「短期・単発の仕事中心」を希望したのが2・0％となっている。

今後の働き方の希望（派遣労働者調査）　単位：％

希望内訳	計	男	女	登録型	常用雇用型
派遣労働者以外	48.9 (100.0)	44.4 (100.0)	53.3 (100.0)	50.9 (100.0)	46.6 (100.0)
正社員として	(80.8)	(86.6)	(76.2)	(78.5)	(83.8)
今の派遣先	(45.9)	(48.5)	(43.9)	(46.0)	(45.8)
今の派遣先以外	(34.9)	(38.1)	(32.3)	(32.5)	(38.0)
パート等として	(11.0)	(5.3)	(15.6)	(12.5)	(9.0)
無期契約、今の派遣先	(6.8)	(3.6)	(9.3)	(8.2)	(5.0)
無期契約、今の派遣先以外	(2.9)	(1.1)	(4.4)	(3.2)	(2.5)
有期契約、今の派遣先	(0.8)	(0.1)	(1.3)	(0.6)	(0.9)
有期契約、今の派遣先以外	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.6)
その他	(7.8)	(7.9)	(7.8)	(8.5)	(6.9)
派遣労働者	26.8 (100.0)	23.7 (100.0)	29.8 (100.0)	28.7 (100.0)	24.4 (100.0)
無期契約で	(71.0)	(70.9)	(71.2)	(69.7)	(72.8)
今の派遣先	(53.0)	(53.8)	(52.4)	(48.6)	(59.1)
いろいろな派遣先	(18.1)	(17.1)	(18.8)	(21.2)	(13.8)
有期契約で	(24.8)	(27.0)	(23.1)	(24.7)	(25.0)
今の派遣先	(16.3)	(20.3)	(13.2)	(16.1)	(16.6)
いろいろな派遣先	(8.5)	(6.7)	(9.9)	(8.6)	(8.4)
短期・単発中心で	(2.0)	(1.2)	(2.7)	(2.5)	(1.4)
その他	(2.1)	(1.0)	(3.1)	(3.2)	(0.8)
その他	22.9	29.8	16.2	18.9	27.7

カッコ内は内数。

直撃インタビュー「そこが聞きたい」

非常用発電設備の点検

1年に1回は30％以上の負荷点検の実施を

1面関連

新しい報告書で必要となった具体的な記載

近藤豊嗣氏（一社・日本エネルギー設備保安推進協会代表理事）

非常用発電機はこれまで負荷をかけて点検をすることは少なく、ほとんどが無負荷による点検だった。そのため電源供給時に稼働しないケースもあったようだ。現実に東日本大震災の時には非常用電源のいくつかが稼働しない事例もあった。非常用発電機は普段、運転する機会がほとんどないため、急に動かすと様々な不都合を生じる。車も空ふかしだけでは、いざ動かそうとした時に馬力が出ない。だから、発電機も日頃から適正な負荷をかけておかないと、いざという時に役に立たないのだ。

消防法で定められている負荷運転は、消火活動に必要なスプリンクラーや消火栓ポンプを動かすための運転状況や換気状況を確認するもの。自家発電設備の定格出力が、加圧送水装置の出力を上回っていれば、スプリンクラーや消火栓は稼働し、消火活動ができる。ところが、無負荷（空ふかし）運転点検だけを行っていると、ディーゼルエンジン内にカーボンが堆積される。そのため1年に1回は30％以上の負荷運転を行い、堆積されたカーボンを燃焼排出させておく必要があるのだ。

30％というと負荷としては低いと感じる向きもあるだろうが、発電機というのは長時間回す場合は半分くらいの動力で回しているので、30％くらいでも特に問題はない。時間は30分～1時間くらいだが、1時間やる方が望ましい。発電機の本来の性能検査のためには、より高い負荷をかけた方が良いが、この数字はあくまで消防法に則った消防設備の発電機を対象としたもので、北海道地震の時に起きた大規模停電（ブラックアウト）のような緊急時に3日間72時間のBCP（事業継続計画）対策に対応できるものではない。

現在、消防用発電機の設置登録台数は25万台くらいだが、平成14年から消防法の中で30％以上の負荷点検が推奨されていたにもかかわらず、そのうちの8割くらいは負荷運転ではなく、無負荷運転時等に実施するように変更。

この文面だけを見ると改正で規則が緩められたと感じる人もいるかもしれないが、実際は違う。❶の内部観察や❷の予防的な保全策にはそれぞれ細かい規定があり、クリアするには何枚も書類を提出しなければならず、煩雑な手続きとなる。よく内部観察や予防的な保全策の概算コストを出してほしいと言われることがあるが、発電機の設置状況や場所や年数を現地調査しなければ出すことは難しい。

❸のガスタービンエンジン（回転運動）の自家発電機はディーゼルエンジン（ピストン運動）のものと比べ、燃料の完全燃焼が得られやすく、燃料室などにカーボンの付着がほとんどないことが今回の措置に繋がった。また❹の換気性能の確認は、これまで負荷運転時の温度によって確認するとされてきたが、それよりも無負荷運転時の自然換気口や機械換気装置の確認の方が必要であることが検証データ等で確認された。

とはいえ、注意しなければならないのが、前出の内部監察等の点検は、「発電できる」ということを保証するものではないということ。自家発電設備の構造上、エンジンは動いているのに発電できないという事態は十分に想定できる。また前述した通り、内部監察はシリンダーヘッドを開けるなど実質的にオーバーホールに近い作業となるため、通常の負荷運転よりも手間・時間・コストがかかってしまうという可能性もある。

❶総合点検における運転性能の確認方法は、以前の負荷運転のみから、改正後は負荷運転に内部観察等を追加。

❷負荷運転の実施周期を1年に1回から、改正後は運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は6年に1回に延長。

❸負荷運転が必要な自家発電設備は、以前は全ての自家発電設備に負荷運転が必要だったが、改正後は原動機にガスタービンを用いる自家発電設備の負荷運転は不要。

❹換気性能点検は負荷運転ではなく、無負荷運転時等に実施するように変更。

この文面だけを見ると改正で規則が緩められたと感じる人もいるかもしれないが、実際は違う。❶の内部観察や❷の予防的な保全策にはそれぞれ細かい規定があり、クリアするには何枚も書類を提出しなければならず、煩雑な手続きとなる。よく内部観察や予防的な保全策の概算コストを出してほしいと言われることがあるが、発電機の設置状況や場所や年数を現地調査しなければ出すことは難しい。

❸のガスタービンエンジン（回転運動）の自家発電機はディーゼルエンジン（ピストン運動）のものと比べ、燃料の完全燃焼が得られやすく、燃料室などにカーボンの付着がほとんどないことが今回の措置に繋がった。また❹の換気性能の確認は、これまで負荷運転時の温度によって確認するとされてきたが、それよりも無負荷運転時の自然換気口や機械換気装置の確認の方が必要であることが検証データ等で確認された。

とはいえ、注意しなければならないのが、前出の内部監察等の点検は、「発電できる」ということを保証するものではないということ。自家発電設備の構造上、エンジンは動いているのに発電できないという事態は十分に想定できる。また前述した通り、内部監察はシリンダーヘッドを開けるなど実質的にオーバーホールに近い作業となるため、通常の負荷運転よりも手間・時間・コストがかかってしまうという可能性もある。

パワーアップバージョンで新登場！自動床洗浄機
軽い、操舵性：高効率の洗浄性：確実な操作性
従来機種から大幅な機能UPを実現

総販売元 東京ビル管理用品協同組合
お問い合わせは 事務局●TEL.03(3256)7959

美智子のちょっとピリイン PART❷

塩分

詩人　大林　美智子

ここ何年か、悩み続けてきたことがある。ピンポイントで足指がツるのだ。歩いていてツる。靴を脱ぎ、スリッパにはきかえてツる。そのスリッパをぬいで畳を歩いてツる。

正座したとたんツる。ズボンに脚を通している途中でツる…。生活のあらゆる場面で、予告なくやってくるのだ。50代最後半に、ストレスから座骨神経痛を発症した。そのせいかと思って泣き暮らしていたが、知り合いの接骨師にミネラル不足では？と指摘され、サプリメントを摂り始めたところ、治まってきたので安心し始めていたのだが…。

今年の春、水泳中に大ことになってしまった。バタ足中、なにかよりそりゃあ、塩分不足にもなるわ…とやっと気がついたのである。

地球の生物にとって、塩は水と同じくらい大切なものなのだ。溢れかえる健康情報をうのみにせず、我が身に尋ねながら、日々加減していく。その調整こそが健康の礎なのだろうと猛反省のこの頃である。

右足に違和感があった。そしてプールから出たとたん、右足指がツリ、それを治そうとしたら、右ふくらはぎがギューッと。ずっと水泳を続けてきて初めてのことで、私はすっかり恐ろしくなってしまった。ここまでミネラルだの漢方薬だの試してきたが、いったい何が悪いの？　どうしたらいいの!?

ところで、今夏は仙台も殺人的な暑さに見舞われた。体温より暑いという日々に、私はかつてなく塩分が欲しくなった。味噌汁を濃くし、サラダには塩をたっぷりふりかけ、ご飯には梅干し。お団子より塩せんべいが美味。

塩分への悪評だらけの情報にさらされ、すべて薄味。そのうえ、私は果物が大好きで、食べない日はない。果物に含まれるカリウムは、塩分を体から追い出していく。またまたそのうえ、水も多く飲む――こんな毎日では、のか!?　我ながらあっけにとられた。ミネラルではなく、単なる、純粋な、塩!?

詩人

株式会社 民報印刷
http://www.p-minpo.co.jp
〒960-2154 福島県福島市佐倉下字二本榎前10-7
Tel.024-594-2170 Fax.024-594-2158

http://www.taiyo-bldg.jp/
この環境を守らなくては・・・
ビルの総合管理から廃棄物処理まで
Clean Health Maintenance Guard Manege Other
この環境を守らなくては・・・
大洋ビル管理株式会社
■本社　〒010-0923 秋田市旭北錦町1-14 TEL 018-865-0601 FAX 018-865-0612
■東京支店　〒171-0014 東京都豊島区池袋二丁目43-3 田村ビル3階 TEL 03-5944-8464 FAX 03-5944-8775
■仙台支店　〒982-0802 宮城県仙台市太白区八木山東1丁目16-1 TEL 022-398-8151 FAX 022-398-8152

着工が決定した主な建築物件

本社・調査企画室調べ

（施主・工事名・構造規模・設計者・施工者・完成予定の順）

●東京建物、住友不動産、野村不動産、近鉄不動産、住友商事、東急不動産＝仮称・さいたま新都心Ⅲ街区計画（埼玉県・共同住宅）、鉄筋コンクリート造15F31,809㎡、設計施工は長谷工コーポレーション、完成は2022年3月。

●国立大学法人千葉大学＝千葉市標識設置情報（千葉県・文教施設）、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート11F40,932㎡、設計は山下設計・清水建設共同企業体、施工は清水建設千葉支店、完成は2021年1月。

●総合住宅建設事業協同組合＝仮称・中町4丁目プロジェクト（東京都・共同住宅）、鉄筋コンクリート5F2,354㎡、設計はクレオ一級建築士事務所、完成は2019年10月。

●三菱UFJ信託銀行＝仮称・北馬込一丁目計画（東京都・高齢者施設）、鉄筋コンクリート造3F3,404㎡、設計は東洋建設一級建築士事務所、施工は東洋建設関東建築支店、完成は2019年12月。

●第一リアルター＝仮称・浅草橋Ⅲホテル計画新築工事（東京都・ホテル）、鉄骨造12F2,828㎡、設計はエムエーシー建築事務所、完成は2019年12月。

●ユニカ＝仮称・ユニカ町田新築工事（東京都・遊技場、店舗）、鉄骨造、鉄筋コンクリート造B2F／7F7,764㎡、設計は田村設計、完成は2020年1月。

●社会福祉法人東京武尊会＝仮称・江古田園新築工事（東京都・高齢者施設、保育施設）、鉄筋コンクリート造3F5,999㎡、設計は総合建築設計センター一級建築士事務所、完成は2020年1月。

●住協建設＝仮称・南六郷3丁目計画新築工事（東京都・共同住宅）、鉄筋コンクリート造5F2,791㎡、設計はグローバン企画、完成は2020年1月。

●バラダイスリゾート＝仮称・船堀七丁目マンション新築工事（東京都・共同住宅）、鉄筋コンクリート造8F4,538㎡、設計は谷口建築企画、完成は2020年3月。

●日本下水道事業団＝下水送水施設（東京都・下水送水施設）、鉄筋コンクリート造B2F／2F3,450㎡、設計は日本下水道事業団建築設計課、完成は2023年7月。

●守谷商会＝仮称・新横浜駅前ホテル新築工事（神奈川県・ホテル）、鉄骨造B1F／10F2,426㎡、設計は空間システム研究所、完成は2020年3月。

●大和地所レジデンス＝仮称・相模原市南区上鶴間本町一丁目計画（神奈川県・共同住宅）、鉄筋コンクリート造14F3,210㎡、設計はエフティー建築設計事務所、完成は2020年11月。